

## 「麗し千客万来の都市・堺」

前田 秀一

### 1. 提案事業名

“都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」の構築および運営

### 2. 事業の目的

官民一体となって堺の“都市魅力”を創造的に再生し、国内外にセールス・プレゼンテーションを行うことが必要であり、多面的な自由度と経済性のバランスをもった対応が不可欠である。その為、民間が主体性を発揮して取り組むことが望ましく、堺商工会議所が、堺の都市魅力情報を総括的に発信・発行する“都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」を構築し、運営する。

### 3. 事業の背景

都市を輝かせるには、都市の魅力発見とそれを活かす自治体の経営センス、官民一体となった都市セールスの強化、情報提供、住民の誇りやホスピタリティに満ち溢れ、誰もが観光を楽しめるバリアフリーの都市づくり、長期滞在を可能にするコストの低減化や周辺都市との広域連携などが必要である\*<sup>1</sup>。

現代において、都市観光は、知的な楽しみを享受する「自分のための観光」と言われている。つまり、旅が芸術、文化の鑑賞、都市の歴史を学び、新たな暮らしを創造するといった知的欲求を満たす多様な体験へと変容していることを意味する。

堺市にあっては、市民が誇りを持って住み続けたいと感じるとともに、自らが堺市の独自の“都市魅力”を発見し、創造的に再生、活用して堺市のイメージ・アップを図り、心を込めて来訪者をもてなすほどに「住み続けたいまち」であり、来訪者が「訪れたいまち」であることが好循環するような戦略の推進が望まれる。

これら好循環の達成は、「求める側」と「もてなす側」の間に効率よく、適切に良質の生きた魅力情報がマッチングすることによって達成されることになる。

### 4. 現状の課題と解決への取組み

堺市文化観光振興懇話会では、堺市・国際文化観光部の諮問を受けて、平成15年7月に「にぎわいのあるまちに向けて」堺市の文化

観光振興施策に関する意見書をまとめた\*<sup>2</sup>。

### 「堺市の文化観光施策の方向性」ービジター誘致のあり方\*<sup>2</sup>

#### ①堺市のブランド・イメージの構築

候補：茶の湯、古墳、伝統産業、与謝野晶子など

施策：歴史的・文化的な物語性を付加し、観光価値を高める

#### ②アクセス環境の整備

物語をビジターが体験する為のアクセス手段の整備

観光コース別、駐車場、路面電車、観光バス、自転車

#### ③その他の観光関連施設

トイレの整備、休憩場確保、案内施設整備

#### ④文化観光事業の活性化

収益事業の財源を堺のプロモーションに活用

ビジターを誘致する為の文化事業の活性化

#### ⑤国際交流を通じた事業展開

堺市に在住・在学留学生等を対象とした堺体験ツアーの実施

堺の歴史・文化を活用した海外からのビジター誘致の推進

市立堺病院跡地に建設が予定されている文化観光拠点については、堺のブランド・イメージ「茶の湯」を主テーマに挙げ、その基本方向として「ビジターと市民が交流できる場」とすることが提案された。

事業展開のあり方として、「民」の資本やノウハウを活用した「官」との役割分担が述べられ、「まちづくり」と一体的に推進する地域の活性化など堺のにぎわいづくりが具体的に説かれている。

平成12年度および平成13年度に堺市・都市政策部の主宰により、独自の「都市魅力」の発見・再生と創造により都市のイメージ・アップを図り、「訪れたいまち」、「住み続けたいまち」堺へのステップ・アップを図ることを目的として、「魅力ある都市づくり検討調査」が計画され、堺市在住者、在勤・在学者による「36人衆」を公募しワークショップを開催して市民提案をまとめた\*<sup>3</sup>、<sup>4</sup>。

### 「都市魅力の創出に向けた共通理念」\*<sup>4</sup>

#### ①新しいコミュニティの構築

「魅力要素情報受発信システム」を中核として、地域社会を基盤とした自主的活動の醸成

② 市民ネットワークの展開

市民活動、民間セクター、行政との情報交換、協働、事業委託

③ 市民活動を中心とした魅力づくり

魅力ある都市づくりへ向けて市民自信による都市魅力の発見、再生、創造

平成13年4月、「36人衆」ワークショップの成果を具体的に市民活動として実施展開することを目指し、参加者有志により堺の“まち”文化の発見、再生、創造を活動の趣旨として**市民活動団体“堺なんや衆”**（堺“納屋衆”をイメージしたネーミング）が設立され活動を開始した\*<sup>5</sup>。

5. 提案事業の実施方法

図-1に“都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」の事業体系を示した。

図-1 “都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」事業体系

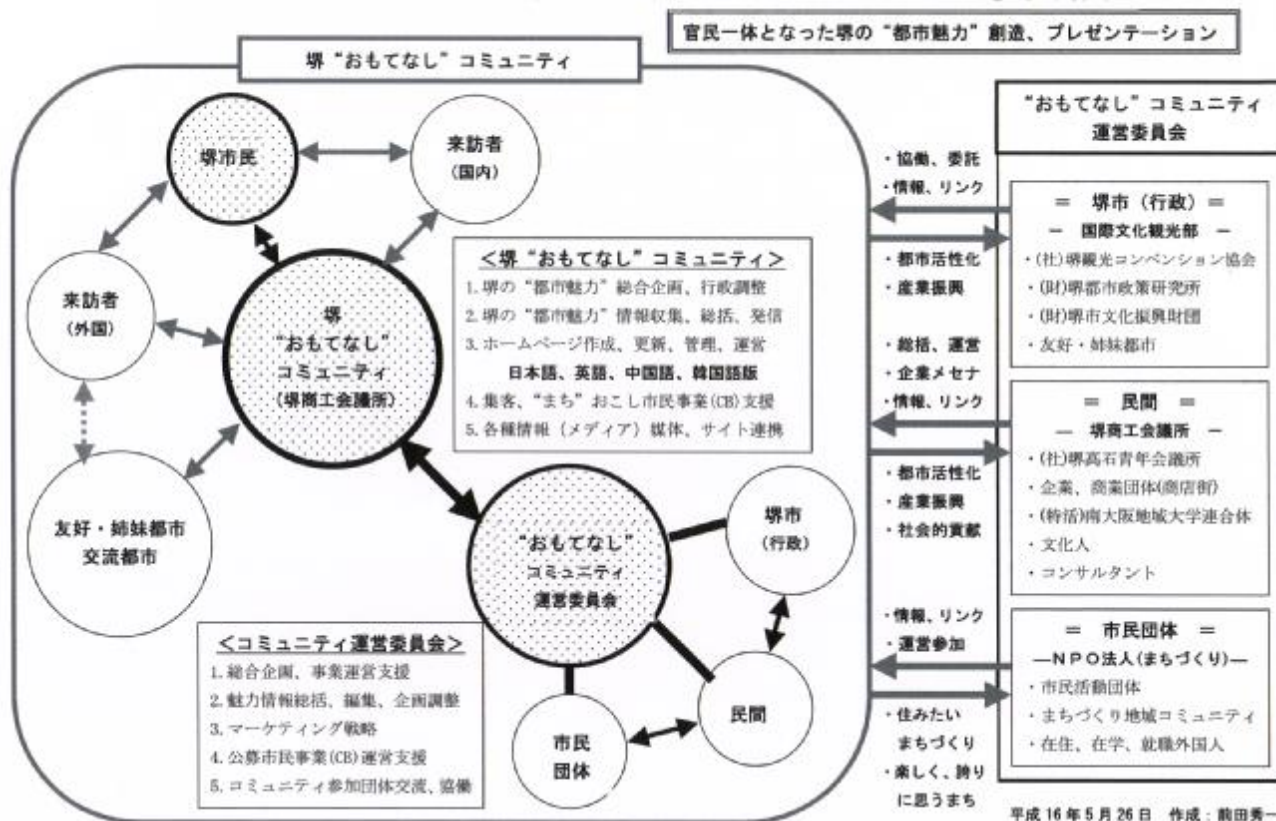


表-1に「堺“おもてなし”コミュニティ」運営における事業収支および施策を示した。

表-1 “都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」運営における事業収支及び施策

(単位:千円)

平成16年5月26日 作成:前田秀一

項目	初年度	2年度	3年度	施策
<b>&lt;収入&gt;</b> ( )内は、広告件数				
<b>1. 助成金、協賛金</b>	<b>4,000</b>			
堺市	1,500			・官民一体となった“まち”の価値創造、“都市魅力”セールス・プレゼンテーションへの投資。 ・都市観光政策への民間および市民活力の導入、活性化。集客事業の再構築。 ・多面的な自由度と経済対応を踏まえた集客事業の中核機関。都市魅力創造、情報発信・発行。 ・都市活性化、企業参加への民間活力参加、社会貢献によるアイデンティティ向上。
専商工会議所	1,000			
民間各種団体・企業	1,500			
<b>2. 融資金</b>	<b>3,200</b>			
融資金	3,200			・コミュニティ・ビジネス創出支援融資制度(民間金融機関タイアップ)導入、活用 ・“まち”おこし、集客を図る市民事業(コミュニティ・ビジネス)の創業支援
<b>3. 広告掲載事業</b>	<b>1,000</b>	<b>1,150</b>	<b>1,075</b>	
ページ作成費	400(20)	200(10)	100(5)	・販賣の広告による「訪問者」への堺の魅力を具体的に訴求。 ・2万円/件
更新費	0(0)	50(10)	75(15)	・5千円/件
ランニング費(年間)	800(20)	900(30)	900(30)	・3万円/年
<b>4. 情報誌発行事業*</b>	<b>0</b>	<b>3,500</b>	<b>5,000</b>	
堺・都市魅力情報誌発行	0	3,500	5,000	・国内外に広く「堺」の“おもてなし”情報を発信する経済的な仕組みの基盤づくり。 ・グラフさかい『View』(編集・発行:堺市広報課、現在、年間3~4回発行)の発行機能を受託し、国内外に広く販売する。国内は、堺出身者、観光情報ディレクター、関連企業ルート等活用し、海外に対しては、歴史的に関わりの深い中国、韓国を主体として、マーケティングにより戦略展開する。
<b>収入計(A)</b>	<b>8,200</b>	<b>1,000</b>	<b>6,075</b>	
<b>&lt;支出&gt;</b>				
<b>1. 融資金返済</b>	<b>0</b>	<b>1,063</b>	<b>2,243</b>	
元金	0	1,000	2,200	・大阪府コミュニティ・ビジネス創出支援融資制度(近畿ろうきんタイアップ)等連携 ・事業立ち上げ期の運転資金(返済:5年以内)、設備資金(返済:7年以内)
金利	0	63	43	・融資額:最高400万円、融資金利:年1.96%(固定)
<b>2. HP作成費用*</b>	<b>4,500</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	
設備費	80	80	80	・Webデザイン能力が優れ、実績のある外注先の公募選定、活用。 ・レンタルサーバー(年間):52,500円、ドメイン取得料:10,500円
ページ作成	4,340			・高品質デザイン・トップ、コンテンツ・イラスト・画像各100枚、翻訳原稿(A4)300枚ほか
プログラム	80			・カウンター、アクセス解析、掲示板
<b>3. HP更新、管理費*</b>	<b>200</b>	<b>800</b>	<b>800</b>	
更新費	0	600	600	・HP作成外注先に一括委託。
管理費	200	200	200	
<b>4. “おもてなし”コミュニティ</b>	<b>300</b>	<b>3,200</b>	<b>2,700</b>	
パソコン等備品	300			
コミュニティ誌費		2,000	1,500	
運営委員会経費		1,200	1,200	
<b>支出計(B)</b>	<b>8,200</b>	<b>3,400</b>	<b>5,803</b>	
<b>収支差額(A-B)</b>	<b>0</b>	<b>27</b>	<b>272</b>	
<b>繰越残高</b>	<b>0</b>	<b>27</b>	<b>299</b>	

**< 堺 “おもてなし”コミュニティ >**  
 ~ 官民一体となった堺の“都市魅力”創造、プレゼンテーション ~

1. 堺の“都市魅力”の総合企画、情報発信および発行による集客プレゼンテーション。  
 初年度:HP立ち上げ、情報発信、グラフさかい『View』発行機能受託、国内マーケティング  
 2年度:グラフさかい『View』発行、有料販売、外国語版販賣マーケティング  
 3年度:グラフさかい『View』外国語版販売(在日外国人、中国、韓国、友好都市、姉妹都市)  
 コミュニティ書籍は、当初、発行数量に応じ、『View』発行業務の規模を見極めて体制構築。  
 ・運営委員会構成:堺商工会議所3名、堺市3名、民間3名、市民団体:3名 計12名

2. “まち”おこし、集客を図る市民事業(コミュニティ・ビジネス)の支援。  
 ・公募による企画・運営助成、助成金・融資(民間金融機関)情報提供・支援

**< 脚注 >**

1. 年間4回、四季刊として1万冊/回→2万冊/回発行。堺市の観光目的ビジター486万人(引用資料:堺市・国際文化観光部;「堺市ビジター実態調査」平成15年8月)
2. ホームページ(HP)の作成、更新、管理は、全て外部委託とする。外国語(英語、中国語、韓国語)版原稿作成は、在任者、在学生在にアルバイト協力要請。
3. HP作成初期費用は、(株)ニッセイ(横浜市指定業者61604)自動計算見積システム(URL: <http://www.homepage.co.jp/autosote.html>)にて概算。

“都市魅力”情報総括機関「堺“おもてなし”コミュニティ」は、堺市(行政)、民間および市民団体3セクターからなる運営委員会を併設し、協働、支援体制を組み、総合企画、魅力情報総括、市民事業(コミュニティ・ビジネス)運営支援などの協力を得る。

堺市および民間セクターからの助成金および協賛金を当初資金とし、経常的には、HP広告収入と堺市から発行機能を受託した「グラフさかい『View』」を堺市の都市魅力情報の基幹誌として編集、育成し、国内外に広く販売して事業収支のバランスに資する。以上

**6. 引用資料**

1. 白石真澄; ニッセイ基礎研究 REPORT、10月号、33頁(2000年)
2. 堺市文化観光振興懇話会(国際文化観光部観光担当); 「堺市の文化観光振興施策についての意見書」一にぎわいのあるまちに向けて-平成15年7月
3. 堺市・都市政策部; 魅力ある都市づくり検討調査報告書(概要版)平成13年3月
4. 堺市・都市政策部都市政策課; 魅力ある都市づくり検討資料作成業務報告書、平成14年3月(堺市行政資料番号 1-J1-01-0372)
5. 市民活動団体“堺なんや衆”活動概要資料